

どうして?

結婚式は「大安」の日

大安ってなあに?

ある学校での給食の時間。

「先生、いとおこのお姉ちゃん結婚するよってん、お父ちゃんとお母ちゃんが結婚式は大安の日でいいよんなる。大安って何ね。結婚式は、どうして大安の日なんですか?」「大安は「大きい安心の安」と書くけん。一番安心で

きる日、一番よか日という意味じゃなかなあ。みんなの家も、大安の日に結婚しとんなつとじゃなかとね」。

六曜ってなあに?

何日かたって、まさこさんと一樹さんが「先生、大安は六曜の一つなんだって。六曜には「先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口」の6つがああって、もともと中国で出来

た一日の運勢なんだって。その中で、大安は、一番いい日なんだって。おじさんが教えてくださいました」「私たちが結婚するときは、大安とか気にする人はきつといなくなるよ」と、まさこさんと一樹さんは強く言いました。

六曜の意味は…

このおじさんは近くのお寺のお坊さんです。そのお坊さんの話によると、六曜には、「先勝、友引、先負、仏滅、大安、赤口」の6つがあり、

「先勝↓友引↓先負↓仏滅↓大安↓赤口」の順で繰り返す。旧暦(太陰暦)では、1月1日は先勝、2月1日が友引、3月1日が先負、4月1日が仏滅、5月1日が大安、6月1日が赤口で始まる。そして、7月(先勝)、8月(友引)、9月(先負)…と繰り返す。このことが新暦のカレンダーに順に割り振られているだけで仏教とは全く関係ないそうです。また、「先勝」は字のごとく「先んずれば勝つ」とされ、「先負」は「先んずれば負け」で、

「静かにしておいた方がよい」とされたそうです。そして、先勝と先負の間に「友引」があります。カレンダーを見ると確かに「先勝」と「先負」の間に「友引」があります。だから、「いいことも悪いことも共に引こう」とされた日で、本来「共引き」という字が当てられていたそうです。

さらに、仏滅は「すべてが虚しい日」とされ、本来は「物滅」と書き、大安も「泰安」と書いていたそうです。

迷信や世間体

私たちの身の回りには、このような六曜をはじめ、血液型や方角、「カラスは不吉だ」など多くの迷信や言い伝えがあります。科学的根拠がないことをそのまま受け入れていくことは、部落差別をはじめいわれのない差別を温存することにもつながります。

今こそ、私たち一人ひとりが迷信や世間体に左右されず、自分で考え、判断し、正しく行動していくことが必要です。

益城町教育委員会

ふるさとの地名漫歩

歴史の変遷と地名

358

歴史上の学説・定説・推論は新資料発見により訂正されることが多々あります。例えば常楽寺の仁王像にもそれが言えます。

た常楽寺文書の読み下し文を紹介します。

「差し出し」

当山仁王門、今晚九ツ時分に火差し仕り申し候に付き、拙僧寺中、村中の者共早速打ちより、消し申し候えども手に及び申さず、両仁王像並びに仁王門、梁行き壱間半、桁行き三間の堂共に焼失仕り候。この外の本堂、鎮守・寺家など別条御座無く候。其の為斯くの如く御座候。以上。

享保六年丑二月晦日

飯田山常楽寺
片山九郎兵衛 殿
北垣市郎左衛門 殿

この古文書により仁王像は江戸中期の享保6(1721)年、火災で焼失したとの伝承が明らかになりました。

益城町文化財を訪ねる会
会長 松野國策

その後昭和58年から

の益城町史編纂の折の調査で、仁王は焼失したので再建し仁王の灰は仁王門の脇に埋めその上に阿弥陀三尊の板碑を建て祀ったとの伝承を発掘しました。

そこで最近発見され



常楽寺仁王像 「ア」の像